



桜(部分)

明るい色 かたちと色彩の饗宴

馬場まり子展

2019年11月2日(土) — 12月22日(日)

これからのアートを創る
NSG美術館

【利用案内】 開館時間 午前10時30分～午後6時(入館は5時30分まで)
休館日 月曜日 ※祝日または振替休日が月曜日の場合はその翌日
【観覧料】 一般:300円・学生:200円・高校生以下:無料



明るい色 かたちと色彩の饗宴 馬場まり子展

木々の緑に囲まれた三条のアトリエで描き出される作品を、作家はほとんど県内では発表していません。新潟県内で初めての本格的な個展です。海の中、季節の移ろい、都会の風景のなかで生きる様々な人々、生き物、花、無機質な物体、それらが競い合い主張し合い描き出されたものは、なぜか明るい色に包まれています。平面と立体の作品が醸し出す世界をご堪能ください。

美術にはなんの関心もなく平凡に幸せに生きていました。突然45才で自分でもわからない何かうしろから押されて、現代美術の世界に入ってしまった。小麦粉を使った作品から出発し、ある時から絵を描きたいという衝動に強かれて、絵を描くようになりました。京橋、日本橋、銀座で個展を重ね、9月、34回目の個展を終えました。

自分の絵の特長のようなものは、

- ・主にフツウの一般の人を描いている
 - ・全体として余白のある東洋画に属しているように思う
 - ・遠近法でない画面の奥行の奥行を考えている
- むずかしいことですが、少しでも新しい絵画をめざたく思っています。

海(部分)

馬場まり子

馬場 まり子 略歴

- 1941年(昭和16) 広島県広島市に生まれる。
 1964年(昭和39) 新潟大学人文学部英文科卒業。
 1986年(昭和61) 45歳にしてはじめて現代美術の分野で作品制作を行う。第1回個展を東京京橋かねこ・あーとG1で開催。小麦粉、その他によるインスタレーションを発表。
 1992年(平成 4) 第5回個展(かねこ・あーとG11)で白いケント紙によるインスタレーションを発表。
 1994年(平成 6) 第7回個展(秋山画廊)で白から一気にカラフルになり、画廊をおおような長さの絵を描く。絵を描いたケント紙による立体作品と平面作品等によるインスタレーションを発表。

以降東京で発表を続けている。

- 2001年(平成13) 「三条市医師会ニュース」の表紙絵を担当、現在に至る。
 2004年(平成16) 「新潟の美術2004 新潟の作家100人」展(新潟県立万代島美術館)に出品。
 2006年(平成18) 「第2回 新潟の美術2006 新潟の作家100人」展(新潟県立万代島美術館)に出品。
 2016年(平成28) 「馬場まり子画集 ピンク幻想」を發行。
 2019年(令和元) 「あたらしいかたち 新潟県人作家展2019」(新潟市新津美術館)に出品。



6人II



砂丘館 同時期開催
観覧無料

明るい色

岡田清和/片桐翠/馬場まり子

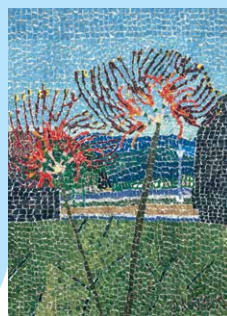
日時
2019年11月2日(土)
~12月22日(日)

時間
9:00~21:00

休館
月曜(11/4を除く)、11/26

場所
[砂丘館]
新潟市中央区西大畑町5218-1
TEL:025-222-2676

共催
企画
明るい色展



岡田清和
彼岸花



片桐翠
壺



NSG美術館

〒951-8101 新潟市中央区西船見町5932番地561
 TEL: 025-378-3773 FAX: 025-378-3772
 メールアドレス: nsg-artmuseum@nsg.gr.jp
 ホームページ: <http://www.nsg-artmuseum.jp>

